



あべともこニュース

野党6党合同で「児童相談所緊急強化法案」を国会に提出！

◆児童虐待死を繰り返さないために
5歳の船戸結愛ちゃんが虐待の末に短い命を失いました。香川県の児童相談所で一時保護が繰り返されていた結愛ちゃんは、両親の転居に伴い東京では自宅暮らし。関係機関の連携不足により、救えるはずの命が失われました。こんな事件をもう繰り返してはいけません。

6月26日、立憲民主、国民民主、無所属の会、共産、自由、社民の5党1会派で緊急に「児童相談所緊急強化法案」を事務総長に提出しました。現在、人口4万人に対して1人とされている児童福祉司の数を3万人に1人以上に増やします。また、虐待相談件数の高いエリアではその数に応じて上乗せします。その上で更に、各相談所の児童福祉司の数を1人プラスします。この法案が通れば、児童福祉司の数は全国で1269名増えることとなります。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選7回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、内閣委員会筆頭理事・予算委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

◆児童福祉司増員と共に連携の強化も
ただし、数が増えただけでは事件の再発は防げません。
法案では、児童福祉司の増員と同時に、児童が転居した場合に、児童相談所同士がスムーズに連携できるように、情報提供の義務を盛り込みました。
また、家庭裁判所、警察、医療機関が、自治体を中心にネットワークする体制を整えるよう求めました。
母子支援に対する取組みとしては、自治体の母子支援センターを充実させると共に、産後の母子を支援する産後ケアセンターを設置する法案も既に提出しています。

◆子どもは社会の宝なのです
国も自治体任せではいけません。実は、児童相談所の職員の3割以上が非常勤で不安定な身分で働いています。虐待のような深刻な事態に陥った親子を支援する側への目配りも必要です。



6月26日、衆議院事務総長へ法案提出

法案には、検討事項として、児童虐待の相談に応じる非常勤職員の待遇改善や常勤職員への転換など必要な支援体制を国が検討することも求めました。子どもは私たち社会の宝なのです。